SHIBUYA PARCO 7th Anniversary 「BORDER/SHIBUYA」

11月20日(金)～29日(日)の期間、特別なイベントや渋谷PARCO限定・先行アイテムを展開。OPENING PARTYを初日夜開催のほか、『POPEYE』、「渋谷百軒店」とのスペシャルプログラムも。

渋谷PARCOは、**2026年11月20日(金)～11月29日(日)の10日間、7周年記念企画SHIBUYA PARCO 7th Anniversary「BORDER/SHIBUYA」**を開催します。本企画のテーマは「BORDER/SHIBUYA」。街・カルチャー・人・価値観など、さまざまな“境界”が交差し、新たな文化が生まれ続ける場所“渋谷”。渋谷PARCOを起点に、あらゆる境界にとらわれず、その交わりから生まれる新たな可能性や面白さを、街へ、さらには国境を越えて広げていく多彩なイベントを展開します。



初日には、柴田聡子×Noridogamのライブやlogin.jpキュレーションイベントをはじめ、多彩なテナントでDJイベントやスペシャルサービスを展開するOPENING PARTYを渋谷PARCO全館で開催。また7周年を記念して各ショップでは**100種を超える限定アニバーサリーアイテム・先行販売商品、メニュー**をご用意します。
渋谷PARCO7周年のスペシャルプログラムとして、**今年創刊50周年を迎える雑誌『POPEYE』の特別展「POPEYE 50th Anniversary Exhibition」を4F PARCO MUSEUM TOKYOにて開催。**本展では、歴代アーカイブ閲覧スペース、創刊時の編集部デスクの再現などの体験型展示を楽しめるほか、館内各所にてPOPUP、映画上映、編集部員のフリーマーケット、渋谷のシティガイドの配布などPOPEYEの世界観を丸ごと体感できるイベントを展開します。
そして今年は渋谷PARCOを飛び出したもう1つのスペシャルプログラムが7周年最終日を飾ります。舞台となるのは、渋谷文化の源流ともいえる「渋谷百軒店」。**渋谷百軒店にある老舗ロック喫茶「B.Y.G」では、スペシャルライブを開催。同時に、渋谷PARCO 9F SUPER DOMMUNEでは、百軒店を起点に渋谷文化の歴史を紐解くトークプログラムを配信。**百軒店と渋谷PARCO、異なる渋谷の文化発信地を配信空間で繋ぎます。
10F PBOX STNDでは初日の柴田聡子×Noridogam SPECIAL LIVEを皮切りに、蓮沼執太、YOSHIROTTEN、kolor、BYREDOなど多彩なアーティスト・ブランドによるイベントを連日開催します。さらに、**7周年キービジュアルを手掛けた「GILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAE」×ラッパー「Tohji」のインタビュー記事の公開**や、日本初上陸ブランド・デザイナー来店企画を伴う渋谷PARCO初出店のPOPUPなど、ファッション、音楽、食、アートといった幅広いジャンルの企画が集結し、渋谷PARCOの7周年を彩る特別な10日間をお届けします。

■タイトル：SHIBUYA PARCO 7th Anniversary 「BORDER/SHIBUYA」
■期 間 ： 2026年11月20日(金)～11月29日(日)10日間
■会 場 ： 渋谷PARCO館内外、SPACE PART 3 by PARCO、NONLECTURE books/arts、渋谷百軒店
■特設WEB： https://shibuya.parco.jp/page/7th_anniversary/

PRESS RELEASE

SHIBUYA PARCO

2026年11月2日
渋谷PARCO

SHIBUYA PARCO 7th Anniversary Opening Party　館内各所でイベントを開催



企画の初日となる11月20日(金)の夜は、館内各所で音楽・DJイベントやケータリングをお楽しみいただける、スペシャルな一夜のイベントを展開。
10F PBOX STNDでは柴田聡子× Noridogamによるスペシャルライブを開催。さらに9F SUPER DOMMUNEでは漫画家 望月ミネタロウ特集の特別番組、5Fでは日本の文化を「デジタルアーカイブ」するプロジェクト集団「Login.jp」によるフロアパーティ、4Fでは7周年キービジュアルを手掛けたGILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAEが主宰する「獣」によるパフォーマンスイベント「学園天國」のほか、各ショップではDJ・ケータリング、デザイナー来店イベントなど多彩なラインナップで初日の夜を彩ります。

●日時：11月20日(金) 18:00～21:00
●場所： 渋谷PARCO 館内各所　　●入場料：無料 ※一部条件あり
●イベント情報：https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9042



柴田聡子 × Noridogam SPECIAL LIVE @ 10F PBOX STND（OPEN 19:00 / START 19:30）

日本のシンガー・ソングライターの柴田聡子と、韓国のバンド・Silica Gelのメンバーであるキム・チュンチュ（Kim Chunchu）のソロプロジェクトNoridogam。多方面から高い評価を得る2組が、特別なツーマンライブを実施。
本イベントに参加希望のお客様を100組200名様を無料ご招待。2026年11月2日(月)～11月11日(水)の期間中、渋谷PARCO公式Instagramにて募集。



5th FLOOR NEW GEEKS OPENING PARTY curated by Login.jp @ 5F 特設会場



5F「CHAOS CULTURE GEEK」にカルチャーやファッションを中心とした新たなショップが加わり、ギークな世界観がさらに進化。そんなNEW GEEKたちのオープンを記念し、SNSで話題の音楽とアートを通じて日本の文化を「デジタルアーカイブ」するプロジェクト集団「Login.jp」キュレーションによるオープニングパーティーを開催。
イベントに出演するDJが参加した「Login.jp」プロデュース記念ムービーも後日、渋谷PARCO公式SNS及びPARCO公式YouTubeにて公開予定。
出演：オカモトレイジ（OKAMOTO'S） / tamanaramen / HIMAWARI



学園天國 @4F 吹き抜け

7周年キービジュアルを手掛けたアーティストGILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAEが主宰する「獣」により4階吹き抜けが一夜限りの教室に変身。同ビジュアルは、渋谷PARCO前のナカシブ通りで撮影した集合写真、いわば「学級写真」。その生徒たちの教室が、パーティー当日の4階に現れる。机と椅子、教卓と黒板を並べた教室で、時間割に沿って授業、休み時間、部活動が進行し、さまざまな分野の「先生」たちが教壇に立つ。来場者は全員「転校生」。好きな席に座れば、その瞬間から生徒に。見る側と入る側の境界（BORDER）を行き来できる、7年目のクラスへようこそ。

SHIBUYA PARCO 7th 醸音祭@B1F (22:00～ALL NIGHT)

「クラフトビール(醸)」と「音楽」をテーマにしたSPECIAL EVENT。参加ショップにて今夜のために用意したクラフトビールの提供とビールを片手に盛り上がれる音楽イベント。

【参加店舗】B1F CARNICERIA / Campy!bar / QUATTRO LABO / 米とサーカス / 立飲みビールボーイ / ユニオンレコード渋谷

【SHOP EVENT PICKS】 ※一部店舗参加・配布条件あり

B1F：GALLERY X BY PARCO（望月ミネタロウ展 "グラフィズム"OPENING RECEPTION）
1F：GUCCI (SPECIAL DRINK) / MIU MIU (DJ) / CELINE (COOKIE) / MARNI (DRINK) / Hermès in Colors（PHOTO BOOTH）
2F：JIL SANDER (DRINK) / THOM BROWNE (Engraving Service) / alexanderwang (NOVELTY) / Ami Paris(CATERING ・NOVELTY) / Kankyō Records Kiosk(DJ) / Marc Jacobs/Heaven by Marc Jacobs (DJ) / OUR LEGACY (CATERING ・Novelty)/ TOGA (NOVELTY)
3F：EYETHINK (DJ) / ENFÖLD/någonstans (DESIGNER VISIT) / GANNI (CATERING) / HIGASHI (DJ) / JW ANDERSON (CATERING) JOHN LAWRENCE SULLIVAN (DESIGNER VISIT) / kolor (Limited Beer) / MARINE SERRE (CATERING) / Paul Smith (CATERING)
4F：COYSEIO (NOVELTY) / PAMM (輪投イベント・NOVELTY) / TANAKA (ORDER EVENT) / VCM GALLERY (DRINK)
5F：BRAIN DEAD STUDIOS SHIBUYA (DJ) / Kodak Apparel SHIBUYA (DJ) / NINJA BASKETBALL ARMY (DJ) / ODD TAPE DUPLICATION (DJ) / URBAN TUBE (DJ) / Vans Store Shibuya (DJ) / WIND AND SEA (DJ)
9F ：SUPER DOMMUNE（望月ミネタロウ展 “グラフィズム” 特集 特別番組）　　...and more !

PRESS RELEASE

SHIBUYA PARCO

2026年11月2日
渋谷PARCO

- Beyond the CITY - POPEYE 50th Anniversary Exhibition

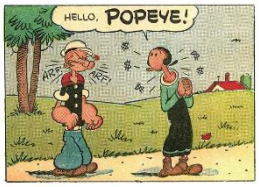


■雑誌『POPEYE』創刊50周年を記念した特別展 「POPEYE 50th Anniversary Exhibition」

1976年に株式会社マガジンハウス（旧・平凡出版）より創刊されて以来、「Magazine for City Boys」というキャッチフレーズのもと、日本の若者の文化を牽引し、シティボーイのためのファッション＆カルチャー誌として愛されてきた『POPEYE』。そんなPOPEYEの50年を振り返る本展では、歴代アーカイブを実際に手に取って読めるスペース、創刊時の編集部デスクの再現展示、展覧会オリジナルグッズなど、充実した体験型展示を楽しめます。

●会場：4F PARCO MUSEUM TOKYO
●会期：11月20日(金)～12月21日(月) 11:00-21:00
※入場は閉場の30分前まで ※初日・最終日18時閉場
●入場料：700円（税込）／入場特典付き　※小学生以下無料 ※各種優待対象外
●主催：株式会社パルコ　●協力：株式会社マガジンハウス
●展覧会公式サイト　https://art.parco.jp/museumtokyo/detail/?id=2036

■POPEYE OPEN DAY



POPEYE OPEN DAY
食べて、飲んで、話して、聴いて。

POPEYE編集部、POPEYEゆかりの人物たち、そして読者のみんなが一緒にワイワイ楽しむための特別な2日間。ピザとドリンク、豪華ゲストのトークショー、DJに加えて、編集部メンバーの私物を並べたバザーも実施予定。一日目は「HOW TO BE A MAN.」をテーマに、かっこいい大人になるためのヒントがちりばめられる。二日目のテーマは「Thank you, Olive!」で、シティガールたちが今考えていること、リアルな日常を学べる一日になるはず。



●会場：10F PBOX STND
●期間： 11月21日(土)～11月22日(日)　※入場無料(一部チケット制)

■POPEYE SELECT SHOP

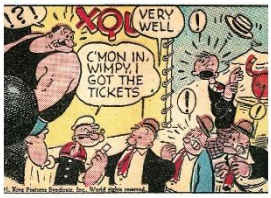


POPEYE SELECT SHOP
置いてあるものはなんでも買える。シティボーイの部屋。

ポップアップスペースが「シティボーイの部屋」に見立てられ、僕らの憧れの部屋に。置いてある家具も、クローゼットの古着も、本棚にある古本も、テーブルの上の雑貨も、あるものは全部買えるセレクトショップ。POPEYEセレクトの商品のほか、POPEYEの表紙やページを彩ってきたイラスト、写真も購入できる。自分の部屋に加えてみたいアイテムがきっと見つかるはず。

●会場：1F POP UP SPACE 「DAIROKKAN」
●期間：11月20日(金)～12月6日(日)

■POPEYE CINEMA



POPEYE CINEMA
シティボーイのための、3日間の映画館。

11月発売のPOPEYE本誌の映画特集に合わせ、3日間毎日違うラインナップで、編集部が厳選した映画を上映。映画好きなら見逃せない、貴重なタイトルも再上映する。さらにPOPEYE Webで人気の映画ポッドキャスト「PARAKEET CINEMA CLASS」の特別編に加え、なんと濱口竜介監督の生トークショーも実現。ここだけの、POPEYEオリジナルのポップコーンケースやドリンクカップも制作（予定）。



●会場：SPACE PART 3 by PARCO
●期間：11月27日(金)～11月29日(日)



『渋谷PARCOで待ち合わせ』

渋谷PARCOを起点に街を隅々まで遊び尽くすためのシティガイド「渋谷PARCOで待ち合わせ」を館内で配布！在原みゆきさん、吉村界人さん、佐伯ポインティさんが愛するスポット紹介、九龍ジョーさんが綴る渋谷をテーマにしたエッセイ、POPEYE編集部が制作した名店ガイドなど、さまざまな角度から渋谷を掘り下げます。



『POPEYE』× CURRY UP コラボカレー

〈HUMAN MADE〉が運営する人気カレー店『CURRY UP』と雑誌『POPEYE』のスペシャルコラボが実現！POPEYEをイメージした限定メニューを、POPEYE 50th Anniversary Exhibitionの開催に合わせ開発。B1Fの『CURRY UP』店舗にて販売予定。

PRESS RELEASE

2026年11月2日
渋谷PARCO

- Beyond the TIME / TOWN - SHIBUYA PARCO / 百軒店

昔ながらと現代文化が交差する街「渋谷百軒店」。1920年代から多くの店や人々が集まり、音楽、映画、喫茶、演劇など、既存の価値観にとらわれない独自の街の空気を育んできました。百軒店が育んできた自由な精神は、渋谷の街、そして渋谷PARCOにも受け継がれ、ファッションをはじめとする多様な文化発信の源流となってきました。渋谷PARCOが7周年として、「BORDER/SHIBUYA」を掲げる今、様々なプログラムを通じて、百軒店と渋谷PARCO、ふたつの境界線を越えながら、これからの渋谷文化の街を拡張していきます。
各企画の詳細はこちら：https://shibuya.parco.jp/page/hyakkendana-dommune



■SUPER DOMMUNE「The hardcore dwelling in Shibuya｜渋谷に宿るハードコア」〜都市の記憶は誰にも解体できない〜

現代日本のアートシーンにおいて際立った存在感を放つ宇川直宏が、新たな文化の発信基地として渋谷PARCOに開局したファイナルメディア「SUPER DOMMUNE」。
今回特集するのは、渋谷文化の源流のひとつ「渋谷百軒店」。渋谷百軒店はかつて、映画館やボウリング場、ジャズ喫茶など、文化人がたむろする渋谷文化の中心であった。急激に変容を遂げる今の渋谷にとって、雑多性、混在性を孕むこのエリアを様々な角度から見つめ直すことで、渋谷の原点とは？コアとは何か？富裕化が進む今の渋谷に問い直す。「渋谷に宿るハードコア｜The hardcore dwelling in Shibuya」〜都市の記憶は誰にも解体できない〜

●会場：9F SUPER DOMMUNE　●会期： 11月29日(日)
●出演者：武井進一 (Face Records) / 東京福袋 (みやしたゆきこ/吉野忍) / 布施琳太郎 / 吉見俊哉（社会学者）and more.



■SHIBUYA PARCO 7th Anniversary SPECIAL LIVE「BORDER / SHIBUYA」

渋谷百軒店にある、1969年にオープンした伝説の老舗ロック喫茶「B.Y.G」でスペシャルライブを開催。渋谷の喧騒とは異なる、街の記憶や風情が漂う空間で、様々な世代のアーティストによる弾き語りで街の情緒を演出します。
ライブストリーミングチャンネル「SUPER DOMMUNE」にて一部様子の生中継を予定。
※本イベントに参加希望のお客様25組50名様を無料ご招待。2026年11月8日(日)〜11月19日(木)の期間中、渋谷PARCO公式Instagramにて募集します。

●会場：B.Y.G　●会期：11月29 (日) OPEN 18:30 / START 19:00 / CLOSE 22:00
●出演：Coming Soon



企画協力：渋谷百軒店商店街

■NOVELTY｜「GATE TO 百軒店TICKET」

期間中、渋谷PARCO館内にて、税込12,000円以上のお買い上げレシートをご提示かつ、渋谷PARCO公式Instagramをフォローいただいた先着300名様に、「百軒店」対象店舗で使えるチケットをプレゼント。

【買上げ対象期間】2026年11月20日（金）〜2026年11月29日（日）
【お買い上げ対象店舗】渋谷PARCO全店 ※一部店舗対象外
【引き換え会場】渋谷PARCO 5F サービスカウンター
【チケット使用期限】11月20日（金）〜2026年12月13日（日）
【引き換え対象店舗】東間屋、スタンドうみねこ、B.Y.G、Mikkeller Tokyo、ムルギー
※無くなり次第配布終了。※複数店舗での合算可。※企画内容は予告なく変更となる場合がございます。
※対象店舗ごとに所定のサービス・特典とお引き換えいただけます。

望月ミネタロウ展“グラフィズム”



©Minetaro Mochizuki/Kodansha

パルコと講談社による新プロジェクト「渋谷スペイン坂編集室」による、マンガ家・望月ミネタロウの創作変遷をグラフィズム（＝視覚表現）という観点から辿る展覧会。
本展では、これまでの望月ミネタロウの数々の作品の中から『バタアシ金魚』『ドラゴンヘッド』『東京怪童』というジャンルも時代も異なる3作品にフォーカス。各作品の原画の展示を通して、それぞれの表現がどのように生まれ、時代と響き合い、現在へとつながっているのかを見つめ直します。一人の作家の魅力を再発見するとともに、日本のマンガ表現の豊かさや可能性について考えるきっかけとなることを目指す試みです。
さらに展覧会初日の11月20日(金)にはSUPER DOMMUNEにて特集番組を配信予定。

●会場：B1F GALLERY X BY PARCO
●会期：11月20日(金)〜12月4日(金) 11:00-21:00　※最終日18時閉場
●入場料：1,000 円(税込)　※入場特典付き
●企画／制作：渋谷スペイン坂編集室　●キービジュアルアートワーク：スケシン
●展覧会公式サイト　https://art.parco.jp/galleryx/detail/?id=2022

10F　PBOX　連日開催のスペシャルイベント

■field 2026

ダンスミュージックフェスティバル「Rainbow Disco Club」との共同制作プロジェクト「field」によるイベントが開催。音楽、アート、パフォーマンス、マーケットがジャンルの垣根を越えて入り乱れる、カオティックな1日が繰り広げられます。個性豊かなDJやミュージシャン、パフォーマーたちが、それぞれの領域から少しはみ出し、異なるカルチャーや価値観が交差する空間。クラブでも、ライブハウスでも、マーケットでもない。好奇心旺盛な人々が旅をするように自然と集い、思い思いの時間を共有する、都市の中の自由な中間地帯です。さらにTシャツプロジェクトも新たに始動。数量限定でオリジナルTシャツを販売。

●日時　：11月23日(月・祝) START 12:00 / CLOSE 19:00
●入場料：無料　※当日の混雑状況によりご案内時間や方法が変更になる場合がございます。
●詳細　：https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9022



■MUSIC TODAY PARCO

蓮沼執太が企画・構成するイヴェント「MUSIC TODAY」が3年ぶりに開催。本公演では会場を暗闇にした状態でパフォーマンスが行われます。視覚情報を極限まで無くし、暗闇の中でパフォーマンスをすることで、音そのものに集中した鑑賞体験にフォーカスを当てます。出演は、灰野敬二 + 蓮沼執太、COLA REN、そして音無史哉+下宮弘聖+三浦元則+佐藤愛美による雅楽四重奏で蓮沼執太作曲の「雲起時」を演奏します。

●日時　：11月26日(木) OPEN 18:30 / START 19:00
●入場料：3,800円　※購入方法等の詳細は下記リンクをご確認ください。
●詳細　：https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9023



■REBEL RAMEN sponsored by BYREDO

1Day限定でパリで開催されたREBEL RAMEN sponsored by BYREDOが渋谷PARCOにて開催。今夏パリファッションウィーク中に開催されたREBEL RAMENより、JUNKとPUREの２種類を特別に展開。この1日限定の特別な機会を是非お見逃しなく。

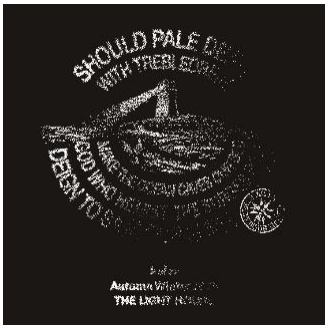
●日時　：11月27日(金) START 15:00 / CLOSE 23:00
●入場料：無料　※当日の混雑状況によりご案内時間や方法が変更になる場合がございます。
●詳細　：https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9024



■YOSHIROTTEN - Radial Graphics Bio 刊行記念トーク＆DJイベント

グラフィックを起点に、映像、空間、インスタレーションへと表現の領域を広げ続けているYOSHIROTTENの10年以上にわたる創作を一冊にまとめた初の包括的作品集「Radial Graphics Bio」の刊行を記念し、イベントを開催。10F PBOX STNDにてトークやDJイベントを展開。

●日時　：11月28日(土)
●詳細　：詳細は後日公開予定
https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9025



■「The Lighthouse×kolor 2026AW」特別上映＆トークイベント

kolor 2026AWコレクションは、映画『ライトハウス』が持つ「絶海の狂気」にインスピレーションを受け、モノクロームの美学を服へと昇華させたコレクション。当日はコレクション映像や映画の上映に加え、kolorクリエイティブディレクター堀内太郎氏らによる、作品とモードが交差する濃密な世界観を体感できるスペシャル対談を実施。
渋谷PARCO7周年期間中、3F kolor店頭にて限定Tシャツ(税込22,000円)をご購入いただいた方を先着順で本イベントへご招待。

●日時　：11月29日(日) OPEN 13:30 / CLOSE 17:00
●詳細　：https://shibuya.parco.jp/event/detail/?id=9026

PRESS RELEASE

SHIBUYA PARCO

2026年11月2日
渋谷PARCO

渋谷PARCO7周年を記念して限定・先行販売商品が登場

「CDG」「S'YTE」「Ami Paris」「STONE ISNAND」「UNDERCOVER NOISE LAB」「Ground Y」「JW ANDERSON」をはじめ、約100アイテムの渋谷PARCO7周年記念の限定商品や先行販売商品が登場。
商品ラインナップはこちらから　https://shibuya.parco.jp/page/7th_anniversary/

【限定アイテム】



上段左から　2F CDG「CDG × BE@RBRICK T-SHIRT」 14,300円 ／ 1F S'YTE 「SHIBUYA PARCO Exclusive Collection」 ／ 2F Ami Paris「WOOL POLO WITH AMI DE COEUR」99,000円 ／ 2F STONE ISLAND 「CASENTINO EFFECT WOOL NYLON ZIPPER KNIT」 83,600円 ／ 2F UNDERCOVER NOISE LAB「PARCO限定アイテム」
下段左から　3F Ground Y「SHIRT JACKET」55,000円、「WAIST STRING PANTS」46,200円 ／ 3F kolor 『The Lighthouse』コラボTシャツ 22,000円 ／ 3F JW ANDERSON「Loafer bag in pine green alligator leather」3,630,000円 ／ 1F pillings POP UP STORE「Flying Reindeer Yoke Sweater」176,000円　　※全て税込

POPUP



■pillings POP UP STORE

デザイナーの村上亮太が手掛けるファッションブランド「pillings(ピリングス)」が渋谷PARCOにてPOPUP初開催。日本の手編み職人と共にハンドニットアイテムを中心としたコレクションを展開。“landscapes(ランドスケープス)”と題された2026年秋冬コレクションは、曖昧な記憶や夢の中の風景、現実と虚構のあいだに漂う感覚を、洋服を通して静かに呼び起こす。シーズンコレクションの他、本POP UP STORE限定ハンドニットアイテムも販売。

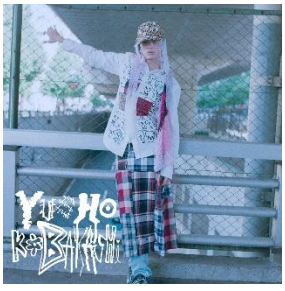
●会場：1F POP UP SPACE 「GATE」
●期間： 11月20日(金)～11月29日(日)



■Sandy Liang Pop Up Store

ニューヨーク発ブランド、Sandy Liangが日本初上陸。彼女の幼少期の記憶や、ニューヨークで目にした人々、日常の風景からインスピレーションを得て、遊び心とウィットに富んだコレクションを展開。90年代の幼い頃の彼女の記憶に残るシルエットやカラーをベースに、フェミニンな要素とユーモラスなディテールを組み合わせた独自の世界観を表現している。
税込55,000円以上購入でブランドロゴ入りのERRAND TOTEを進呈。POPUP限定アイテムとして「Dressing Up: Sandy Liang」ロゴ入りフーディーを展開。

●会場：1F POP UP SPACE 「ARCADE」
●期間：11月20日(金)～11月29日(日)

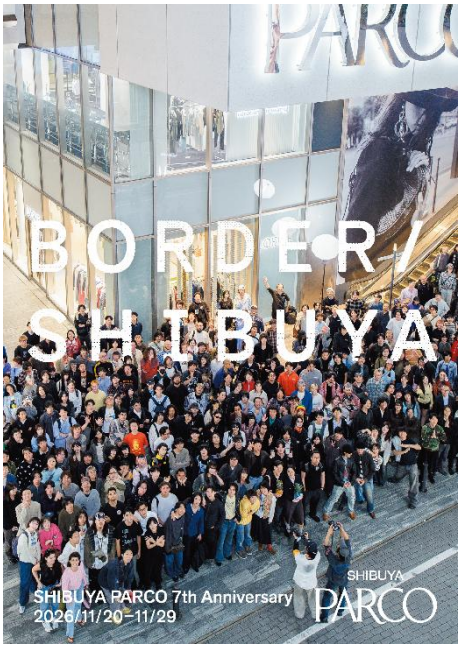


■yushokobayashi pop-up "tokyo"

yushokobayashi初となるメンズカプセルコレクションと、POPUP限定のウィメンズアイテムを販売。東京をテーマに、リメイクの１点ものの洋服やパーカーなどを展開する。
オリジナルのクレーンゲームや、お買い上げ金額により、カプセルトイのノベルティなどをお楽しみいただける。

●会場：4F POP UP SPACE 「STAIRS」
●期間：11月20日(金)～11月29日(日)

「BORDER/SHIBUYA」キービジュアル



SHIBUYA PARCO 7th Anniversary 「BORDER/SHIBUYA」のキービジュアルに現代美術作家・GILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAEを起用。
ある日、渋谷PARCO前の空間に存在したさまざまな人々と都市の新しい記憶を写し出した。

GILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAE COMMENT

―今回、SHIBUYA PARCO 7th Anniversaryのキービジュアルを制作するにあたり、何を感じましたか？
客として足を運んでいた渋谷PARCOの7周年のビジュアルを、自分が制作できることを嬉しく思いました。

―今回、「BORDER/SHIBUYA」という7周年のテーマを受けて、「集合写真」という表現を選ばれましたが、なぜですか？
集合写真は、学校や会社などひとつのコミュニティで撮ることが多いものだと思います。今回は、さまざまなコミュニティにいる人たちが、撮影の瞬間にその場に集まり、ひとつの枠に収まることで、それぞれの間にある境界＝BORDERをゴチャっと混ぜることができるのではないかと考えました。

GILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAE（ギロチンドックス☆ギロチンディ）

1999年、東京都生まれ。多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業。「都市と青年」を主題に、90年代の青年漫画やデスゲーム系の映画・ドラマなど、サブカルチャーの影響下で物語性を伴うコンセプチュアルな制作を行う。2021年より、現代美術の展覧会とライブパフォーマンスを融合させた長編プロジェクト「獣」を主宰。渋谷PARCO7周年初日である11月20日(金)には、4F吹き抜けにて「獣」によるイベント「学園天國」を開催。詳細は2Pをチェック。

PARCO PEOPLE



音楽と現代美術、それぞれの領域で独自の表現を追求してきたTohjiとGILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAE（以下、ギロチン）。Tohjiがギロチン主宰のアートプロジェクト「獣」に出演し、ギロチンがTohjiのアリーナ公演のステージ演出を手がけるなど、これまで両者は、互いの活動を横断しながらコラボレーションを重ねてきた。
今回は、渋谷PARCO7周年のKVを手掛けたギロチンとTohjiによる対談が実現。再開発が進む渋谷の街並みや、都市と文化の関係から、それぞれの幼少期や創作の原点まで。互いの表現に共鳴する二人が、東京の現在と未来、そしてこれからの文化のあり方について語り合った。

Interview Tohji×GILLOCHINDOX☆GILLOCHINDAE｜
ツルツルした街とザラザラした感情～創作の原点と都市のこれから
11月9日(月)11:00 公開予定

salamanda for SHIBUYA PARCO '11-2



渋谷PARCOの館内BGMを、韓国・ソウルを拠点に活動するアンビエント／エレクトロニック・デュオ、Salamanda(サラマンダ)がセレクト。Uman Therma(Sala)とYetsuby(Manda)からなるSalamandaは、身の回りのあらゆる音に美しさを見出し、遊び心あふれるリズムや繊細な電子音、幻想的なサウンドスケープを紡ぎ出す注目のデュオ。今回は2026年11月1日から2027年2月28日までの4か月間、11～12月と1～2月の2期に分け、それぞれ異なるプレイリストを展開。季節の移ろいを感じさせる彼女たちならではの自由な選曲が、渋谷PARCOの空間を彩ります。

Salamanda(サラマンダ)
Uman Therma(Sala)とYetsuby(Manda)による韓国・ソウル拠点のアンビエント／エレクトロニック・デュオ。2019年にデビューし、Good Morning Tapes、Human Pitch、Wisdom Teethなどから作品を発表。ミニマリズムや環境音、電子音響を融合させた、遊び心と幻想性に満ちた独自のサウンドで国際的な評価を得ている。